

## 前回会合以降の修正箇所

電波政策懇談会第7回会合での議論の結果及び報告書(案)の意見募集の結果を踏まえ、以下の修正を行った。

指摘事項または提出意見	対応(報告書(案)の修正点)
<p>・報告書中の各ページや節のタイトルを、より興味を引くように工夫したほうが良いのではないか。</p>	<p>報告書の章、項等のタイトルを修正。</p>
<p>・家庭内ワイヤレスプロジェクトの周波数が 5GHz 帯からいきなり 60GHz 帯のミリ波に飛んでいるが、その間の周波数帯にもまだ開発する余地はあるのではないか。</p>	<p>家庭内ワイヤレスプロジェクトの周波数配分について、25/27GHz 帯を候補周波数として追加。</p>
<p>・将来の増大する無線トラヒックへの対応手段として、マクロ・マイクロ・ピコ・フェムト各セルの性能を最適化する「ヘテロジニアス(異質混合の)ネットワーク」の考え方が、無線方式の改良と同時に取り上げられるべきである。</p>	<p>将来の増大する無線トラヒックへの対応手段について、異質混合のネットワーク(ヘテロジニアスネットワーク)等の考え方をより明確化するため、下線部のとおり具体的に記述</p> <p>「<u>周波数利用効率向上技術(ヘテロジニアスネットワーク技術等)</u>」</p>
<p>・国際展開市場の試算額が小さすぎるのではないか。せめて全体の1/4ぐらいにはなっていて欲しい。</p>	<p>国際展開市場について、以下の記述を追記。</p> <p>「さらに、今後予想される人口減少社会においてワイヤレス市場の成長を継続していくためには、国際展開の重要性が一層高まってくることが考えられる。これを踏まえると、輸出市場については、日本発あるいは日本が先行する電波利用システムを、展開フェーズを考慮して戦略的に展開すること等により、我が国の国内ワイヤレス市場と同等以上に拡大することを目標とすべきである。」</p>
<p>・用語集については、簡単なものが多い気がする。より技術的な用語を入れた方が良いのではないか。</p>	<p>用語集について、より技術的な用語を中心に追加。</p>
<p>・紙媒体ではなく、ハイパーリンクをクリックすると関連箇所へ飛ぶように、電子媒体を用いて、より報告書を分かりやすい見せ方で公開した方が良いのではないか。</p>	<p>国際展開を念頭に置いた産学官一体の「ブロードバンドワイヤレスフォーラムの設置」に以下の記述を追記。</p> <p>「以上に加え、フォーラムにおいては、我が国の最新の電波利用方策について取りまとめた本懇談会報告書やフォーラムの活動状況について情報の電子化やグローバルな情報発信を行うなど、普及・啓発活動にも取り組むことが重要である。」</p>